

平成29年7月2日(日)13:00～17:00 岐阜県図書館研修室1・2において、(株)協和デンタルラボラトリー代表・木村健二先生を迎え生涯研修基本課程が開催された。

### 教養課程「デジタル時代における歯科技工所の経営スタイルを考える」

近年、私たち歯科技工を取り巻く環境は大きく変化しています。

デジタルデンティストリー時代を歯科技工士として生き抜くには時代の本質を見つめ変化に柔軟に対応することが大切だと考えます。

必要な情報を取り経営戦略を立て経営戦略を実践していくことです。

会社経営は人材に大きく左右されます。

会社は理念に向かって気持ちを合わせて努力する、社員一人一人の力に支えられて成り立っている。

### 専門課程「CAD/CAMで歯科技工はどう変わるか？」

近年のデジタル技術の発達、歯科界のこれまでの構造に大きなインパクトを与えてきました。

熟練した手作業による巧みの技の時代からCAD/CAMによる削り出しに置き換わり、今後はデジタルデータによる歯科技工物製作が始まるであろうことは想像に難くありません。

口腔内をスキャンしデータをPCにて技工所へ送りCAD/CAM操作によって補綴物は作業模型なしで造られます。

他の業界においても仕事や会議は自宅で行なわれ会社や現場に行かない。

私たち歯科技工が生き抜いて行くためには、この様な機械化・情報化の時代だからこそ省力化を図るのではなく人材の育成が重要である。

歯科技工のデジタル化により、私たちが何十年も培って来たスキルは本当に必要なくなるのでしょうか。

口腔内を歯科医師と一緒に観察し、ちょっとした工夫もあると思うのですが…。

この先デジタル化は避けては通れず、やはり歯科技工の将来は省力化・合理化が進んで行く様な気がします。

そこには、今までの歯科技工の居場所はどれだけ残っていくのでしょうか。

私の様な小さな個人経営の技工所にCAD/CAM機器の購入は難しく、どう対応すべきかを含め多くのことを考えさせられる講演であった。

